



平成23年1月期 第1四半期決算短信

平成22年6月3日

上場会社名 株式会社 サガミチェーン

上場取引所 東 名

コード番号 9900 URL <http://www.sagami.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小塚 照男

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部担当 (氏名) 伊藤 修二

TEL 052-771-2126

四半期報告書提出予定日 平成22年6月4日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年1月期第1四半期の連結業績(平成22年1月21日～平成22年4月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年1月期第1四半期	4,688	△13.7	△227	—	△195	—	△483	—
22年1月期第1四半期	5,432	—	△286	—	△283	—	△402	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年1月期第1四半期	△19.83	—
22年1月期第1四半期	△16.51	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年1月期第1四半期	17,162	11,028	64.2	451.65
22年1月期	17,049	11,519	67.5	471.77

(参考) 自己資本 23年1月期第1四半期 11,013百万円 22年1月期 11,504百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年1月期	—	0.00	—	0.00	0.00
23年1月期	—				
23年1月期(予想)		0.00	—	0.00	0.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成23年1月期の連結業績予想(平成22年1月21日～平成23年1月20日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	9,950	△9.1	△120	—	△90	—	△740	—	△30.33
通期	20,380	△8.3	0	—	30	—	△710	—	△29.10

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
(注)詳細は4頁【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 有

(注)詳細は4頁【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年1月期第1四半期 24,972,784株 22年1月期 24,972,784株

② 期末自己株式数 23年1月期第1四半期 587,661株 22年1月期 586,697株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 23年1月期第1四半期 24,385,761株 22年1月期第1四半期 24,394,075株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(注)上記業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の業績は、様々な要因により、予想数値とは異なる場合があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、外需や景気刺激策に牽引される形で、緩やかな景気回復局面を迎えることとなりました。一方、国内消費におきましては、家計所得の減額や、雇用不安等により改善の兆しは見られず、かつ長期化の様相を呈しております。

外食産業におきましても、来店客数の減少基調に底入れ感は見られるものの、生活防衛意識を背景に、外食機会や外食動機の改善は限定的となりました。さらに、業界全体では価格競争の様相を呈しており、客単価の減少が続いております。

このような環境のもと、当社グループは劇的に変化する環境に対応し、かつ業績の早期改善を図るため「お客様の支持と利益の最大化」をテーマに、「①サガミ業態の再構築」「②業態ポートフォリオの見直し」「③経営基盤の強化」を推進する三カ年計画を策定いたしました。計画初年度となる当第1四半期連結会計期間におきましては、経常損失の解消を図るための政策を積極的に取り組んでまいりました。

主力の和食麺類部門では、前連結会計年度に引き続き経費削減計画を策定し、固定経費を削減する一方、お客様の消費動向に対応すべく価格帯の幅を広げたランチメニューや、お客様の趣向に対応した選べるおかずのグランドメニュー等の施策に加え、「旬の味覚 うに・はまぐり」、「素材厳選 純鶏名古屋コーチン」等の料理フェアを実施いたしました。また、ハレの日にご利用して頂けるよう、「節分のおもてなし企画」「お昼の会食企画」等も実施いたしました。これらの取り組みにより、既存店客数は前年同期比2.8%減と改善の兆しは見られるものの、客単価が1.6%減少し、既存店売上高は前年同期比5.4%減となりました。

店舗関係では、業態転換のため2店舗（三好店、川越店）を閉鎖いたしました。セルフサービス方式のどんどん庵部門におきましては、全店販売促進企画「どんどん庵祭り」を2回実施し、新規出店を1店舗（稲沢平和町店）、閉店を3店舗（ピアゴ大曾根店、四日市松原店、ラッキープラザ津島店）、直営店舗からF C店舗への変更を3店舗（岩倉店、師勝店、美濃焼卸センター店）、F C店舗から直営店舗への変更を3店舗（笠松店、桑名江場店、旭前店）行いました。

その他の部門では事業開発本部が推進する、和風スイーツ業態のたい夢を1店舗開店した事に加え、業態転換により、あいそ家を2店舗開店いたしました。

この結果、当第1四半期連結会計期間の業績は、売上高4,688百万円（前年同期比13.7%減）となりました。経費削減計画等により、販売費及び一般管理費を前年同期比580百万円削減した事等により、営業損失は227百万円（前年同期は286百万円の営業損失）、経常損失は195百万円（前年同期は283百万円の経常損失）となりました。また、資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額等特別損失（304百万円）の発生により、四半期純損失は483百万円（前年同期は402百万円の四半期純損失）を計上することとなりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

（財政状態）

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、17,162百万円と前連結会計年度末比113百万円の増加となりました。流動資産は前連結会計年度末比4百万円減少し3,392百万円、固定資産は117百万円増加し13,770百万円、流動負債は前連結会計年度末比233百万円減少し3,991百万円、固定負債は837百万円増加し2,142百万円、純資産は490百万円減少し11,028百万円となりました。

（キャッシュ・フロー）

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、2,714百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は294百万円となりました。支出の主な内訳は税金等調整前四半期純損失が437百万円、役員退職慰労金の支払額が51百万円であり、収入の主な内訳は資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額が268百万円、減価償却費が127百万円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は144百万円となりました。支出の主な内訳は有形固定資産の取得による支出が107百万円、店舗撤去による支出が96百万円であり、収入の主な内訳は有価証券の売却による収入が50百万円、有形固定資産の売却による収入が10百万円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果獲得した資金は518百万円となりました。収入の主な内訳は長期借入れによる収入が600百万円、短期借入金の純増額が30百万円であり、支出の主な内訳は長期借入金の返済による支出が103百万円、リース債務の返済による支出が8百万円であります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年1月期第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、平成22年3月4日に公表しました業績予想を修正しておりません。詳細は本日公表の「特別損失の計上に関するお知らせ」をご参照ください。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

・簡便な会計処理

① 固定資産の減価償却費の算定方法

国内連結子会社においては、定率法を採用している資産について、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分する方法によっております。

② 経過勘定項目の算定方法

国内連結子会社においては、一部の経過勘定項目の算定について、合理的な算定方法による概算額で計上する方法によっております。

・四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

・会計基準の変更等による変更

資産除去債務に関する会計基準の適用

「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）が平成22年3月31日以前に開始する連結会計年度から適用できることとなったことに伴い、当第1四半期連結会計期間から、同会計基準及び同適用指針を適用しております。

これにより、営業損失、経常損失が3,411千円増加し、税金等調整前四半期純損失が271,943千円増加しております。また、これらの会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は321,402千円であります。

・その他の変更

表示方法の変更

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係）

前第1四半期連結会計期間において、「投資活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に含めて表示しておりました「店舗撤去による支出」は重要性が増したため、当第1四半期連結会計期間より区分掲記することといたしました。なお、前第1四半期連結会計期間の「投資活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に含まれる「店舗撤去による支出」は1,400千円であります。

1 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年4月20日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年1月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,623,359	2,542,036
受取手形及び売掛金	63,403	79,042
有価証券	321,294	371,503
商品及び製品	79,613	75,011
原材料及び貯蔵品	149,087	145,874
その他	155,878	183,649
貸倒引当金	△11	△11
流動資産合計	3,392,627	3,397,105
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,917,840	2,905,963
機械装置及び運搬具(純額)	309,906	323,516
土地	6,436,519	6,436,519
その他(純額)	158,125	99,233
有形固定資産合計	9,822,391	9,765,233
無形固定資産		
	166,933	117,600
投資その他の資産		
投資有価証券	1,317,501	1,320,292
差入保証金	2,039,747	2,107,728
その他	592,003	596,751
貸倒引当金	△168,524	△255,312
投資その他の資産合計	3,780,728	3,769,459
固定資産合計	13,770,053	13,652,293
資産合計	17,162,680	17,049,399

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年4月20日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年1月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	574,632	621,324
短期借入金	430,000	400,000
1年内返済予定の長期借入金	322,960	326,000
1年内償還予定の社債	1,000,000	1,000,000
未払金	1,061,624	1,135,424
未払法人税等	41,059	117,990
賞与引当金	104,747	44,753
店舗閉鎖損失引当金	162,104	281,640
その他	294,682	297,881
流動負債合計	3,991,811	4,225,015
固定負債		
長期借入金	1,367,750	867,800
長期未払金	217,842	281,583
退職給付引当金	8,434	7,802
資産除去債務	321,402	—
その他	226,974	147,757
固定負債合計	2,142,403	1,304,943
負債合計	6,134,214	5,529,959
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,303,521	6,303,521
資本剰余金	7,256,905	7,256,905
利益剰余金	△2,006,543	△1,523,058
自己株式	△565,432	△564,900
株主資本合計	10,988,450	11,472,467
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	40,947	50,286
為替換算調整勘定	△15,908	△18,011
評価・換算差額等合計	25,039	32,274
少数株主持分	14,976	14,697
純資産合計	11,028,466	11,519,439
負債純資産合計	17,162,680	17,049,399

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年1月21日 至平成21年4月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年1月21日 至平成22年4月20日)
売上高	5,432,688	4,688,828
売上原価	1,718,618	1,496,664
売上総利益	3,714,070	3,192,163
販売費及び一般管理費	4,000,188	3,419,213
営業損失(△)	△286,118	△227,050
営業外収益		
受取利息	4,234	2,491
受取配当金	1,732	1,390
受取保険金	1,203	8,946
助成金収入	—	18,885
雑収入	7,767	14,014
営業外収益合計	14,937	45,727
営業外費用		
支払利息	8,376	7,275
雑損失	3,561	7,390
営業外費用合計	11,937	14,666
経常損失(△)	△283,117	△195,988
特別利益		
固定資産売却益	4,825	6,205
貸倒引当金戻入額	858	25,753
店舗閉鎖損失引当金戻入額	—	22,582
その他	800	8,571
特別利益合計	6,483	63,112
特別損失		
固定資産売却損	—	4,717
固定資産除却損	8,995	13,878
投資有価証券評価損	19,227	—
減損損失	3,253	2,613
店舗閉鎖損失	64,051	15,069
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	268,532
特別損失合計	95,526	304,812
税金等調整前四半期純損失(△)	△372,160	△437,688
法人税、住民税及び事業税	31,211	23,429
法人税等調整額	△761	22,236
法人税等合計	30,450	45,666
少数株主利益	70	130
四半期純損失(△)	△402,681	△483,484

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年1月21日 至平成21年4月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年1月21日 至平成22年4月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△372,160	△437,688
減価償却費	144,204	127,912
減損損失	3,253	2,613
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	268,532
貸倒引当金の増減額(△は減少)	—	△25,753
賞与引当金の増減額(△は減少)	140,187	59,993
店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	—	△22,582
受取利息及び受取配当金	△5,966	△3,881
支払利息	8,376	7,275
固定資産売却損益(△は益)	△4,825	△1,487
固定資産除却損	8,995	13,878
売上債権の増減額(△は増加)	3,757	15,638
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,577	△7,816
仕入債務の増減額(△は減少)	△66,825	△46,691
未払金の増減額(△は減少)	△18,467	△80,670
その他	99,725	△27,256
小計	△62,322	△157,982
役員退職慰労金の支払額	△82,100	△51,910
利息及び配当金の受取額	4,212	2,216
利息の支払額	△7,788	△6,603
法人税等の支払額	△60,493	△80,062
営業活動によるキャッシュ・フロー	△208,492	△294,343
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△100,501	—
有価証券の売却による収入	—	50,250
有形固定資産の取得による支出	△154,477	△107,183
有形固定資産の売却による収入	9,580	10,661
投資有価証券の取得による支出	△59,485	—
投資有価証券の償還による収入	100,000	—
差入保証金の差入による支出	△5,517	△14,129
差入保証金の回収による収入	21,226	464
店舗撤去による支出	—	△96,954
その他	16,084	12,069
投資活動によるキャッシュ・フロー	△173,089	△144,821

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年1月21日 至平成21年4月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年1月21日 至平成22年4月20日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	30,000
長期借入れによる収入	—	600,000
長期借入金の返済による支出	△128,254	△103,090
社債の償還による支出	△10,000	—
自己株式の取得による支出	△4,055	△532
リース債務の返済による支出	—	△8,119
財務活動によるキャッシュ・フロー	△142,309	518,257
現金及び現金同等物に係る換算差額	15,642	2,413
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△508,247	81,506
現金及び現金同等物の期首残高	3,773,711	2,633,132
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,265,463	2,714,639

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項事項はありません。

(5) セグメント情報

（事業の種類別セグメント情報）

前第1四半期連結累計期間（自平成21年1月21日 至 平成21年4月20日）

当社及び連結子会社は、外食事業を主要な事業内容としており、外食事業の売上高、営業利益の金額は全セグメントの売上高の合計、営業利益の金額の合計額に占める割合がいずれも90%超であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間（自平成22年1月21日 至 平成22年4月20日）

当社及び連結子会社は、外食事業を主要な事業内容としており、外食事業の売上高、営業利益の金額は全セグメントの売上高の合計、営業利益の金額の合計額に占める割合がいずれも90%超であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

（所在地別セグメント情報）

前第1四半期連結累計期間（自平成21年1月21日 至 平成21年4月20日）

全セグメントの売上高の合計に占める日本の割合が、いずれも90%を超えるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間（自平成22年1月21日 至 平成22年4月20日）

全セグメントの売上高の合計に占める日本の割合が、いずれも90%を超えるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

（海外売上高）

前第1四半期連結累計期間（自平成21年1月21日 至 平成21年4月20日）

海外売上高が、連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間（自平成22年1月21日 至 平成22年4月20日）

海外売上高が、連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。